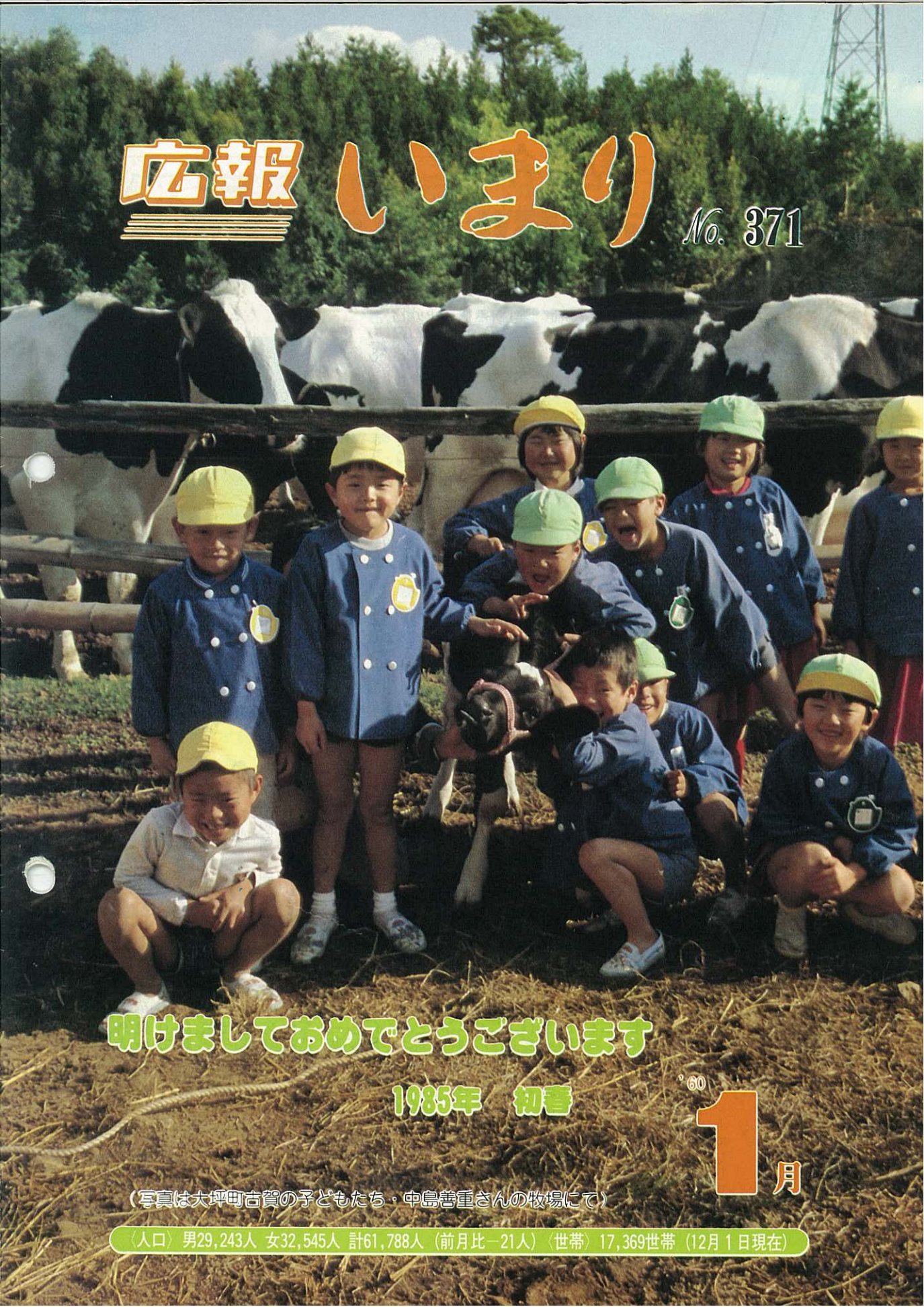


広報 いまり

No. 371



明けましておめでとうございます

1985年 初春

60

1月

(写真は大坪町古賀の子どもたち・申島善重さんの牧場にて)

(人口) 男29,243人 女32,545人 計61,788人 (前月比-21人) (世帯) 17,369世帯 (12月1日現在)

謹賀新年 国際化・情報化へスタートの年



伊万里市長
竹内 通教

市民の皆さん、あけましておめでとございます。

昭和六十年は国際化・情報化に向っての急テンポの時代といわれ、今年はそのスタートの年ですから、伊万里も着実にその第一歩を踏み出さねばなりません。

まずニューメディアへの対応が必要で、十万以下の都市については、国は六十年代の後半を考えているようですが、私どもはいつでもそれに応じられるよう電々株式会社と話し合いをして差し当ってニューメディア教室をつくることをすすめています。

あわせてテクノプラザにおける専門分科会を推進して具体的実働に結びつけ、また豊かな心を育てる施策推進事業のパソコン教室を拡大してソフットの町づくりの基礎を広めなければなりません。

次に最近の企業誘致における立地条件では臨空立地がいわれ、現に伊万里でもシリコンウエーファや早出しのナシ、クルマエビは空輸されており幸い山下運輸大臣もおられ地域間空港に向って先へんをつきたいと思えます。海の流通確保も必要で浦ノ崎団地の埋立認可もあり浦ノ

崎地先の整備と航路の浚せつが行われます。

さらに九州横断道路へのアークス道路は緊急の課題で六十一一年に間に合うよう県に要請をつづけます。

第二の問題は国が財源不足を理由に公共事業を抑制し補助金を削減してきますので、

これからは自立の繁栄策である特色づくりで伊万里の名声を浮揚させねばなりません。

鍋島藩窯公園が名所になってきましたので、何か世界的イベントを行い、また自治省の広域活性化対策では伊万里北松の中核都市にふさわしいソフト人材養成のセンターをつくりたいと思えます。

今年商店街にも活性化を注入し、農村のために一・五次産業の拡大をはかります。

詳しくは施政方針にゆずりますが、六十年代のスタートの年を皆さんと力をあわせて幸先よく出発いたしましょう。

はじめたアマチュア陶芸展を外人にも呼びかけて国際色豊かなものにしていくつもりです。片岡繁男先生は鍋島藩窯公園がガウデイの陶板と石の庭園をモデルにしたところからその国際性を賞讃されますので、スペインのガウディ庭園との関連も考えてみたいと思えます。

一度に国際化までゆかなくとも国内的に「藩窯公園にイーゼル(画架)を立てよう」「藩窯公園俳句まつり」など新しいイベントの方法があります。

ニューイマリづくりのテクノプラザにおける課題の中にも国際的イベントの素材は多々あり、九州電子金属さんは世界に取引先もつておられ、海洋温度差発電も海外への進出が期待されます。

農産物も梨がカナダ、ハワイに輸出され、ピラフが大都市に販路をもち、イマリワインが完成すれば一大伊万里のイベントになります。

昭和六十年をニューイマリの名声の世界浮揚へのスタートの年にしたいと思えます。

(竹内)

13

伊万里川河畔に遊歩道

昭和59年第4回定例市議会

伊万里市議会第4回定例会は、12月7日から21日まで15日間開かれました。提出された議案は、ふん尿汲取手数料額の改定などの条例議案7件、一般会計予算の補正など予算議案13件、一般議案9件など合わせて30件が審議されました。

アマチュア陶芸展 基金を新設

昨年10月の広報でお知らせしていました、山元仁子さんから寄附のあった100万円を、伊万里市アマチュア陶芸展振興基金として積み立てることの承認を得ました。

これは、昨年4月に開催された陶芸展に県内外から多数の出品があり、好評だったことからこの寄附金を将来にわたって有効に活用し、アマチュア陶芸展の振興を図るためのものです。

<汲取手数料の改正>

また、「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の改正は、ふん尿汲取手数料を、定額制の世帯割月額205円を210円に、人員割1人につき月額140円を160円に、回数割2回目から1回に

つき330円を360円に、従量制については、18リットル当たり91円を98円に改定し2月1日から施行するものです。

今回の改定は、許可業者の経営状況や県内各市の状況などをふまえ改定しました。

このほか、二里町福母地区の土地改良事業の施行についてや公共下水道工事の請負契約の変更などの議決を受けました。

ソーラー街灯 や花壇を設置

一般会計予算の補正は、1億3,679万円を追加し予算の総額を145億3,446万円としました。今回の補正の主なものは、生活に直結した足もと道路の整備に要する費用の追加や公共事業の認証決定に伴う事業費の補正を行いました。

このうち、市町村振興整備事



業で伊万里川河畔の遊歩道を整備します。今年度計画では、2,200万円で岩栗橋から相生橋までの伊万里川左岸1.2キロメートルの間に、ソーラー街灯や花壇を設け、ベンチなどを置く予定です。

そのほか、補正の主なものは次のとおりです。

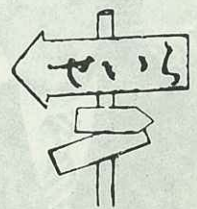
- 楠久保育園建設費補助金として554万円
- 公害測定車の購入費268万円
- 旧不燃物処理場敷地整備工事費500万円
- 農業後継者の花嫁対策事業費25万円
- 鍋島藩窯公園整備のための用地購入費120万円
- 道路整備工事費6,710万円
- 国見台野球場改修工事費500万円

「せいら」を愛読していただいている皆さん、今年度は昭和六十年代のスタートの年でありますから、おめでたいうえに私には「やるぞ」という張り切った心がわいてまいります。

昨年は、市制三十周年で「せいら」もちょうど第一集と同じ回数になりましたので、第二集を出版させていただきました。皆さんに愛読してもらっているおかげで続いたのであり、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

市制三十周年はすばらしい記念行事の連続で伊万里の名声が一まわり大きくなった感じがします。今年はその勢いをかって、六十年代の国際化、情報化の時代に突進しなければなりません。そこで私は伊万里市にある素材を生かして国際的イベントづくりをしたいと思っています。

例えば昨年窯元まつりで



見直そう

新春放談「外から見た伊万里」

ふるさとを

育てよう

売り込もう

1985年 / 21世紀まで15年。国際化・情報化の時代へのスタートの年です。今回は、伊万里市が21世紀に向けてどうあるべきかを、伊万里をよく知っている人に外から見た伊万里について語り合っ、市や市民への提言や考え方を示していただきました。なお、この放談会は伊万里有線テレビ生活協同組合のご好意により収録させていただいたものです。

- <出席者> 佐賀新聞編集局長
 稲田 繁生さん(40)
 佐賀大学工学部助教授
 (伊万里21世紀懇話会座長)
 荒牧 軍治さん(41)
 松下政経塾5回生(多久出身)
 横尾 俊彦さん(28)
 <きき手> 伊万里石油商会専務
 吉富 常彦さん(40)

百年を振り返って

吉富 新年おめでとうございます。本日は「外から見た伊万里」というテーマで新春放談を致します。21世紀に向けて、私たちの伊万里市がどう歩むべきか、政治・経済・文化などあらゆる分野のご意見を伺いたいと思います。

その前に、100年の歴史を振り返ってみると、明治時代のシンボルは明治4・5年県庁が置かれていたこと。肥前地区における行政と産業経済の中心地と

して栄えていた。それを裏づけるのが15年の伊万里銀行設立です。この年、現在の日銀が開業しているのだから早かったかがわかります。

また、元年英国人モールズが炭鉱を開き、以来昭和30年代まで県の基幹産業の一翼を担ってきたこと。米の生産と併せて黒と白の二大基幹産業として産業を支えてきました。

人物像をみると、衆議院議長の川原茂輔翁、大日本精糖など一大コンツェルンを築いた藤山雷太翁、森永製菓の創設者の森永永太郎翁と過去の日本の指導的役割を果たした人たちが輩出しました。今回の山下徳夫運輸大臣の誕生は、実に50数年ぶりの快挙であります。

昭和18年の町村合併、29年の市制施行、そして昨年は市制30周年。この間、ある年は大水害集約産業の衰退による人口の減少など有為転変でありました。

新春早々、こういったことをはね返し、先人の築かれた伊万

里を取り戻したいと思います。

県下でトップのまち

稲田 伊万里を離れて31年。この31年間に伊万里市は文化・教育・産業全般にわたりバランスのとれたすばらしい都市に成長しました。町そのものもきれいだし、いい面での変化から見れば県下七市でトップです。ただ15年たてば21世紀。もう一度、伊万里のまち全体を見直してみてもと思います。

面積は広いし、海あり山あり平野あり観光資源ありとバラエティに富んでいます。生産の場と生活の場、教育の場、それに憩いの場をもう一度分けて考えさらに充実させる必要があります。それと、住んでいる人にへき地という感覚が強いですね。これは捨てるべきです。これから先は高速道路もでき、アクセ



●司会役の吉富さん



▲伊万里有線テレビのスタジオで行われた新春放談会

ス道路ができればいいし、小さな空港もできないことはない。海からの便利も良いので、伊万里はひとつの大きな「文化産業都市」という認識が必要です。

それから、人口10万というのが21世紀へ向けての目標と聞いていますが、そのためにはより積極的な企業誘致と学校誘致ですね。企業誘致は、いろいろ努力されており、九州電子金属は大ヒットだったと思いますが、ただICだけでなく窯業の伝統を生かしたニューセラミックの核となる企業も誘致して下請へ影響をおよぼしていく……。学校誘致は一時期積極的に取り組まれたようですが、これから先今日的課題として生かしていけるんじゃないですか。企業プラス学校によってかなり人口増が期待できると思います。

民間の活力を生かす

ただ、市民の皆さんに申しあげたいのは、今まで伊万里市が発展してきたのは行政中心のハードな面からばかりだと思いま

す。厚生年金休暇センターや藩窯公園、その他のまちづくりそのものが行政中心であったこと。これから先は、民間のアイデアと活力・資金を積極的に活用し、そして民間人が手を携えて総力を挙げて取組み、それぞれの役割を果していくべきだと思います。

また、歴史的にも伝統を誇り世界のイマリで通るのに、日本の中であるいは地元で意外と知られていないようです。これだけ立派なものは、もっと多くの人に知ってもらうため見てもらうことですね。

だから、もっと積極的に伊万里をPRする努力をしなければ。よく「佐賀はナンもなか」「伊万里はナンもなかもんじゃ」と地元の人が言う。ナンもないどころか、伊万里には5本の指に余る立派なものがあります。この総合力を周りに知ってもらうこれが、企業・学校誘致にプラスになります。住み良い健康的で明るい伊万里をほんとうに名実ともに10万都市を目指してく

ださい。

伊万里は陸の孤島か

吉富 10万都市構想が出ましたが、明治以来都市計画の課題は道路です。生活に必要な道路、高速道路とアクセス道路とのかかわり、伊万里の場合は多久・武雄・波佐見のインターがありますが、そういった面で荒牧さんどうですか。

荒牧 道路を考えると、住んでいる人が他地域、よその人達とどういつながりを持ちたいかということがあると思います。

伊万里の人数回話しましたが、陸の孤島という認識が強いですね。唐津・佐賀・武雄・佐世保など小一時間で行けるのに。そういう感覚があるのは大きいと思います。動脈となる九州横断道が建設中ですが、博多まで出て行こうとすると武雄にしる波佐見にしる、どこのインターを通っても1時間。そうすると時間としての距離感はほとんどなくなってくると思います。

だから、孤島化という危機感があるとすれば、アクセス道路が不十分という認識があるでしょう。伊万里にとってメリットの大きいと思われる道路をどれだけ整備していくかというのが一つ。それともう一つ道路の関係で出てくるのは、生活道路の整備ですね。今は車社会で車中心の生活が出てくる、とくに中心街いわゆるバイパスから中の部分についてのアクセスのしにくさというのが非常に不満があると思います。そのとき、大都市のようにど真ん中に車を乗

り入れるのか、もう少しアイデアを出してどこかに駐車場を設け、もう少し人間的な、というか肌ざわりのやさしい乗り物をつくっていく。そして、中の開発を考えていくという考え方もあります。だから、アクセス道路についてなるべく時間を短くしたいという考えは当然あるし考えていかねばならない。21世紀ならばもっと考え方をええなくてはね。

情報は使う人次第

吉富 横尾さん、外からみた・若い人から見た伊万里はどうですか。

横尾 第1に古伊万里。それと最近注目しているのは、佐賀県という所が東京とか関西で覚えてもらってない。学生時代「佐賀ってどこですか？」という質問は度々受けましたが、最近になって気付いたことは、全国的な書物の中に出始めています。一つは古伊万里。もう一つは南波多を中心とした新しい農業の在り方。三番目に出てきつつあるのが、技術を集積したまちづくり。そういう意味でもっと発展していくのではないかと思います。

これから、もっといい伊万里を創っていくには、二つのポイントがあると思います。

第1が情報化社会といわれていますが、情報化というのは、たとえばCATVなどニューメディアの中心になるのではないかと思います。こういう点でも伊万里は進んでいると思います。ただ、63、4年ごろには伊万里にも光ファイバーが入って、たと

えば東京にある情報が、1分間30円で全国均一で利用できる。そうなった時、もう東京に行かなくて情報が手に入る。あるいは、すばらしいアイデアを買って生産できるということは目前に迫っています。そういう社会が出来たとき何が大事かというと、情報を取れることではなく情報を生かす人がいるかどうかということです。

これは、まさに若い人の双肩にかかっています。それをしていくために必要なのは、若い人がもっと外の情報、これからの社会の情報を勉強していただきたい。併せて行政の方では、トレーニングの機関をつくってはどうか。長野県は、現在東洋のスイスと言われるくらいに発展しています。その基盤の一つは、県市が中心になって下請の企業いわゆる中小企業の若い人たちのために、最先端技術を教えている。そういうことが伊万里でも必要ではないかということです。

国際化への対応

2番目に国際化。と申しますのは、3年後ソウルオリンピックが開かれます。その時、日本にも全世界の方が訪れるでしょう。どこを見に行こうかなとなると京都もいいけど伊万里もあるヨ。佐賀もあるヨ。というふうに私自身は言いたい訳です。

なぜかという、古伊万里は世界でも有名であり、自分の手にとって見てみたいという方が大変多い。そういう方に伊万里を紹介するという形でもっともっとPRして、外の目から見た

情報やアイデアで変えていくことを今後考えてはどうでしょうか。その時、中核になるのが若い人の力、発想力、柔軟な頭。これは、各分野の方々が一致団結して伊万里を考える場をもって欲しいのです。

吉富 新技術開発情報センターの設置、これを電々公社のキャブテンシステムと直結して設置したらどうかとの動きもあるやに聞いていますが、もうひとつ掘り下げてどうでしょうか。

荒牧 (笑) 情報に関しては門外漢ですが、21世紀懇話会での話は情報というものがあること、情報が詰まっているということまではわかっています。それを取り出すノウハウはある程度出来つつありますが、どうやって使いそれを文化という面でみればどう楽しむか、産業ではどう使っていくかということ。こちら側の受け皿、態勢があるかどうかで決まると思います。その準備が出来ていないと情報は全く無価値。物と違って情報は使う人次第です。そのことの認識は懇話会でも出てきますが、具体的にはまだないというのが実情です。



●21世紀懇話会の座長でもあら
る荒牧さん

ぜひ欲しい大学

吉富 マスタープランの構想では21世紀に人口10万となると、情報工学としての大学もあっていいのではないのでしょうか。

稲田 伊万里に欲しいのは大学です。やはり優秀な若い人を残したいという気持ちが強いですね。今まで、伊万里だけではなく佐賀県全体が人材供給圏でした。早く言えば市民や県民の税金で勉強してもらった人が、他県で産業の振興に貢献し、他県に税金を落しているわけだから大学をぜひ欲しいと思います。土地の生活環境条件からみて夢じゃないし、教育的環境がここにはあるような感じがします。

市政の重点策として、官民一体となって取り組む必要があります。学校をもってくと人口も増え購買力も出てきます。最近の学生は経済力があり、そういう面で商業関係の振興にもなります。

仲間づくりが文化づくり

吉富 文化というのは人口の集団化の上に成り立っている。人口が減少すると衰退するという相関関係にあります。文化の程度を今後どう高めていったらいいのでしょうか。

荒牧 やっぱり興味というか価値というか非常に多様化していると思う。昔だったら限られた場の中でそれぞれの伝統というか、自分たちの村の中に独自のものがありました。好むと好まざるとにかかわらず、インターナショナルになってこざるを得ない。そうすると多様性というも

のが出てきます。たぶん情報化というものが、この多様性に対応しようとしているのだと思います。その時、自分が楽しめないものは人にも勧められない。そうすると仲間をつくることだって出来ないだろうし、自分が何に興味を持ち、音楽でも芝居でも自分自身が楽しめるということに基本があります。

たとえば山を歩き回ることが楽しいとすれば、オリエンテeringクラブが出来たってそれは一つの文化です。第1の基本というものは、自分たちの町村に誇りをもってその中でどれだけ楽しむか。その中からしか文化は育たないという気がします。

ふるさとに誇りを

吉富 伊万里を伊万里の人にもう一度再発見してもらおうということですね。また、伊万里以外の方が伊万里を見てもらうためのPRする手だてはどうでしょう。

稲田 産業観光、観光産業どちらでもいいわけですが、市政発展の大きな要素。そのためには市民が意識をもう一回新たに持ち直してもらいたい。伊万里はいいとこだ、他に誇るところがいっぱいあるという意識をまず市民がもつこと。南波多・大川のおいしいナシを伊万里の方がまず食べてもらうことだと思います。

たとえば、藩窯公園に実際行った人がどれだけいるか、まだ見てない人がたくさんいるだろうし、まず伊万里の人が知って口コミでPRするというムードをつくる必要があると思います。

それから、官民一体となって



●伊万里出身の稲田さん

産業と観光を組み合わせさせてセットしたものを売り込むこと。農協だけがナシ、ブドウを売り込むとか、観光協会が観光面だけを売り込むのではなく市の総合力が必要です。その総合力の中に産業と観光の占めるウエイトは大きい。だから、そういう話し合いの場をもっと積極的にもったらどうでしょうか。

PRしようと思えば、いくらでもPRの機会はあると思います。全国の若い人とか、経済力のあるご婦人来てもらうためにはマスコミを活用するという方法もあり、いかにすればPRできるかの勉強会・研修会をやるべきではないでしょうか。

農業と商工業の一体化

吉富 昨年12月に立花台で農業祭がありましたが、その周辺は車の洪水でした。それだけ市民を一挙に引きつける吸引力が農協さんにはあります。それに比べ、当日の商店街はガラ空きでした。

商工業者が勝るとも劣らぬ繁栄を取り戻すため、JCあるいは会議所の青年部の若い皆さんに何か活性化するための手だて

はないでしょうか。

横尾 注目しているのは、「愛ラブ伊万里」の運動です。このユニークなキャッチフレーズは、もっと広げていくことが大事ですね。

背振町の「さし身ごんにゃく」は生産は農家、販売は商工会の方が携わっており、今後は福岡そして全国への計画があります。

また、大分県の大山は全国的に有名ですが、ここも売り込みは商業者のみがかれたセンスが販売の支えとなっています。

いいものを作れば売れるではなく、知ってもらわねば売れない。そして、ファッションとかフィーリングにうまく訴えていくことが大事で、これは、商工業の方の知恵と力を借りねば…。そういうことから農業と商工業が一体化し、これをうまくやっていけば道が開けると思います。

農業祭なども2度、3度となると限界がきます。これをカバーするためには、福岡、九州そして全国へと考えて、むしろ、商工業の方が農業者をリードし一緒に伊万里をよくしようじゃないか、そういう形で愛ラブ伊万里を広げてゆくことが活性化の大きなキイとなります。

ローカルのローカル空港

吉富 企業誘致についてはどうでしょうか。

荒牧 土木について議論になるのは、臨海・臨空。企業誘致は町の活性化にとっては基本的なものです。そのためにどれだけ努力するかは当然のことです。伊万里が埋め立てをやった時期が、不幸な時代であったことは否めません。オイルショックという

激震の中で…これから先はもう少し落ち着いてきます。

自分たちのほしい企業、町にふさわしい企業を誘致する努力を必死でじっくり続けていく努力いかんという気がします。

吉富 21世紀懇話会でも継続して取り組んで欲しいですね。コンピュータ空港問題はどうか。

稲田 国の第5次空港整備計画の目玉は、ローカルのローカル。中心の空港までの空の便、空港空白地帯に空港をつくることです。

佐賀空港は、伊万里からすれば長崎空港より遠い。だから、出来る出来ないにかかわらずミニ空港をつくることを本気で考えていいのではないのでしょうか。そして、産業と観光の拠点にする。最近ではトンからグラム時代、グラムのICを中心に鹿児島、大分だって遊びなとこに空港が出来ていて、それなりの産業が立地しており期待できます。

観光が飛行機と車中心になってきています。空から伊万里を見せ陸で楽しむというような空の利用のしかた。距離的にも北松地域を含めて希望がもてます。

大事なのはやる気

吉富 最後になりましたが、市民にメッセージをお願いします。

横尾 一番大事なのは市民のやる気です。地域経済などで有名な目下公人^{くさか きんじん}という経済学者は、「今地方に欠けているのは地方のプライド」と言っています。本当にいいものは地方にあります。それを自分が知って、話して、人を連れてくる行動力のある人がひとりでも多く出てくるのが課題です。



●松下政経塾の横尾さん

今年は牛年。寝てる牛じゃなく闘牛になって欲しいですね。

荒牧 素材は面白いものがたくさんあります。住んでる人がその素材を発見して、創造する気力とアイデアが欲しい。その芽はもう出てきていると思います。

稲田 ふるさとを①見直そう、②育てよう ③売り込もう。

「何とかメンが食えるナ」という感覚の中では町の発展はあり得ません。青春の意気込みをもって欲しいですね。

吉富 ありがとうございます。
【お詫び】紙面が限られるため一部割愛させていただきました。

家庭の日が第3日曜に

「家庭の日」運動は、大阪を除く全国で普及しています。

佐賀県では青少年問題協議会の提唱で、これまで第1日曜日に行われていましたが、60年1月から第3日曜になりました。

「家庭の日」には仕事や行事はさしひかえ、健康的なスポーツやレクリエーションなどで、家族団らんの楽しい時間を過ごしましょう。



▲第31回市内一周駅伝は大川町が優勝(12/9)

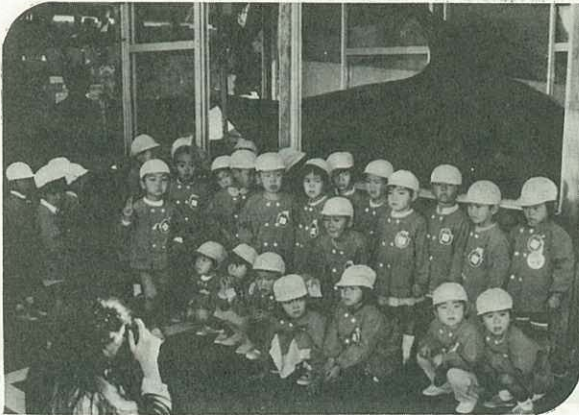
市内63.2キロを各町の132人の選手で、デットヒートを展開した大会では昨年4位の大川チームが優勝2位大坪3位山代4位東山代5位南波多、躍進賞は二里が獲得しました。

ズームインマリ

~~1984~~ 1985



立花小5年1組
斉藤裕貴君の作品です



▲本物のくじらにチビっ子もビックリ(12/8)

市農協の農業祭に重さ1トンのゴンドウ鯨が展示和歌山中で捕えられたものです。

▶終末処理場着工へ(12/8)
二里町八谷搦で終末処理場の起工式がありました。第一期の工費は3億6千万円です。



●元世界チャンピオンが伊万里で指導

卓球協会20周年に長谷川、伊藤選手が来伊、またバレーボールの生沼、加藤選手もママさんを指導しました。



★わが家のPUBS★

梶山 雄矢 くん(1歳)

修一、富代子さんの長男。
だれに似たのかワンパク坊主。
お父さんは空手を、おじいちゃん
は野球の選手にとみんなの希望
の星となっています。(東円蔵寺)

ほほえみ ひろは

(10)

◆まちの話題

自転車で全国高校駅伝へ

12月23日、京都で開かれた全国高校駅伝大会に常勝鳥栖工業高を破って出場した唐津工業高陸上部。その主力選手5名は波多津町の出身で、7日市役所に竹内市長を訪ね、全国大会出場を報告しました。

竹内市長は「まるで伊万里市チームが出場するようだ」と大喜び「よい成績を挙げてください」と励ましました。

5人の選手は、長谷川康裕君、史郎君(木場)の兄弟と市丸浩二君(筒井)、古河裕一君(井野尾)、長谷川勝久君(木場)で史



朗君が1年のほかは3年生です。

稲葉監督宅に下宿する勝久君を除いて4人は自転車通学で、行きは12,3キロの山道を約1時間、帰りは6キロ離れた市民グラウンドで10~30キロを走ってから家路につきます。

自転車で十分な基礎体力が



▲竹内市長に励まされる5人のメンバー

き練習でしごかれて、11月3日の県大会では区間賞や区間2位の好記録で優勝をさらいました。

京都の全国大会でこそ42位の成績でしたが「環境が名選手をつくる」の言葉は、ほんとうに生きているんですね。第2の宗や瀬古も夢じゃないかも。



Q
&
A

健康の窓

伊万里医師会

Q. 最近、子どもの骨が折れやすいと言われていますか？

A. 最近、子どもの骨折が増える傾向にあり、各方面で調査が行われています。

ただ、骨が折れやすくなったということに関しては、まだ否定的です。また、加工食品の影響で子どもの骨が弱くなったという説をとる人もありますが、肯定するような報告はありません。それでは、なぜ増加し

ているのかと言えば、専門医の受診の機会が増え発見率が高くなったこと、住宅の変化により転落事故が増えたこと、遊び場の不足、交通事故の増加、スポーツの普及により骨折する機会が増えたことなどです。

この原因は、最近の子どもは自由に遊びまわれる環境に恵まれぬため、転倒・転落の時に不

安定な姿勢からの立ち直りが下手になりつつあるという注目すべき報告があります。

予防策としては、自然の遊びの中で上手に転べるような敏しょう性や、反射神経を平素から養うことです。スポーツに関しては、体育施設の整備や指導者の養成を図ることが重要です。

さらに、発育期は身体の一部に過度の負担がかかる、片寄ったスポーツは将来の影響を考えると注意深く行うべきです。



♡ほっとニュース

お早よう
ほほえみさん



田中 美栄さん
脇田町脇田

(S.39年生)

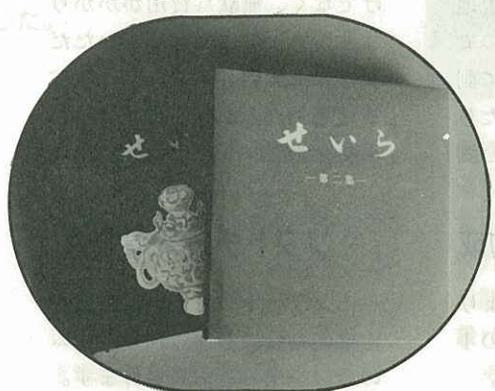
今年成人式を迎えた美栄さんは、佐賀銀行勤めのOLです。きわめつけに明るい性格で誰とでも友だちになれるのが特技？
 ♥今やりたい事 東京ディズニーランドへ行きたいんです。
 ♥理想の男性像 俺についてこいタイプ、俊ちゃんが好き！
 ◎20歳になって高校生にみられないよう大人らしくしたい。

せいら第二集を発売

広報いまりに掲載しています竹内市長の巻頭随想集「せいら」の第2集ができました。今回は50年1月から59年9月号までの117回を収録、市政や世相の10年史となっています。

ご希望の方は、市役所秘書課広報係または図書館、各町公民館でお求めください。

※頒価は1,500円です。



▲せいら第一集と第二集

健康いろは歌

大地ふむ 目標一日 一万歩

おとうさん おとくさん 飲みすぎ吸いすぎ 気をつけて

あの人この人 No. 39 ヤング登場11

県展奨励賞を受けた古竹弥生先生

去年秋の県展で立花小学校の古竹弥生先生函の作品「まどろみ」が彫塑部門で奨励賞を受けました。本人は、自己暗示にかける意味で入賞を宣言していた手前、正直いってほっとしているそうです。

古竹先生は、佐賀大学教育学部特設美術科で彫塑を学び、4年のとき県美術協会展で1席をとった経験もあります。子どものころから絵をかいたり、何か作るのが大好きでした。

今回の「まどろみ」は、卒業以来3年ぶりの作品で、少女ら

しいやさしいものを表現したとのことです。自宅のある黒川の公民館には、以前に作った大きな作品が寄贈されており、訪れる人の目をひいています。

とにかく土をいじるのが楽しくて、無型の土から形を見つけ出す喜びがあるそうです。

立花小では3年生を受持っていますが、猪突猛進であけっぴろげな性格は、子どもたちからも怪力先生と親しまれています。

先生の若い力をこれからも芸術に教育に大いに発揮してくれることでしょう。



●作品「まどろみ」と古竹先生

地籍調査の 測量杭は大切に

市では、昭和58年から地籍調査に着手し、現在、瀬戸町と木須町の一部の測量が済んでいます。この地籍調査で行う測量は国土調査法に基づくもので、測量結果は、どんな測点でも現地復元ができる精度の高いものです。このため三角点を基礎に測量を行い、3ヘクタール当たり20~25点の割合で一筆ごとの測

量に必要な基準点を設け、ここにコンクリート杭やプラスチック杭を埋設しています。

万一、これを抜いたり動かしたりすると法律で罰せられるだけでなく、無駄な費用がかかりますので大切に保存していただくようお願いします。

※地籍調査のお問い合わせは、市役所地籍調査室（内線 415/483）へ。

重度障害者 母子家庭の医療費助成

健康保険法などの改正により10月1日より、本人医療費の1割負担が実施されています。

市では制度改正を行い重度心身障害者と母子家庭に対して、10月診療分にさかのぼって医療費助成を行うことになりました。

申請手続きなど詳細については、福祉事務所までおたずねください。（☎③2111内線261）

ソフトチームの登録

市ソフトボール協会は、協会主催の大会に参加されるチームの登録を次のとおり受付ます。

▲申込期限 2月20日まで

▲登録用紙 各公民館に準備

▲登録料 年間7,000円

チーム登録時に事務局へ納入
※登録されるチームは、協会事務局（松島町古賀常六氏）へお申し込みください。（☎③2393）

忘れていませんか 国民年金の保険料

4月から12月まで国民年金保険料の納め忘れはありませんか。

納め忘れてしまうと納付期間が不足して、万一の場合、障害や母子年金が受けられないことがあります。もう一度確認いたしましょう。なお、会社に勤め厚生年金を取得されたら国民年金の喪失届を市役所の市民課、出張所へ出さなければなりません。

※詳しくは、市民課年金係へご相談ください。（☎③2111内線215）

危険物取扱者の保安講習

危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者で

○免状の交付から5年になる者

○作業に従事して1年以内の者は消防法の規定により講習を受けなければなりません。

※受講の詳細は、市消防本部予防課危険物係（☎③4311）まで。



東京だより

その7

片岡 繁男

「すてきな歌をありがとうございます。おぼえやすい歌なのでわたしは、すぐにおぼえてしまいました。わたしはおとうさんの仕事で立花小にてん入してきました。またほかの学校へかわるかもしれません。でもたちばな小学校のこうかをうたえば、いまだけやこしだけやみどりがいっぱいあったことなどわすれないでおもい出せそうです。お

となになってもこの歌をわすれないでちばな小学校のことを思い出せるとおもいます。おかあさんもわたしがなんかいうたうので、すぐおぼえました。「とってもいいうたね」といって、みんなで大きいこえでたのしくうたっています。ほんとうにありがとうございます。テープにみんなでふきこんだうたをきいて下さい」

以上の文は立花小、三年生女

子の便りである。読んでいて臉が熱くなった。私は、伊万里に生れ育った人には「伊万里に生れてよかった」と思ってもらいふとしたことで伊万里と縁ができた人には「なんと心ゆたかな町だろう」と喜んでもらえる伊万里でありたいと念じている。それが私の詩なのだ。三年生のこの子の戸籍上の古里は別にあるだろう。でも、この子はおとなになっても心の古里として伊万里を暖かく抱いてくれるのだ。きっとそうだ、と臉をとじると涙がながれた。（59.12.7）

定時制の生徒募集

伊万里商業高校、有田工業高校は、働きながら学ぶ定時制の生徒を募集します。

▲学 科

伊万里商業高校…商業科
有田工業高校…窯業、デザインコース

▲出願期間

1次 2月12日～2月14日
2次 3月25日～4月3日

▲学力検査 全日制に同じ

農家のみなさん

農業センサスにご協力を

農水省は、2月1日現在ですべての農家を対象に1985年農林業センサスを行います。これは「農業に関する国勢調査」ともいべき総合的な統計調査です。調査結果は、村づくりの基礎となることはもちろん、市・県・国の農業を発展させるための施策を進めるうえで、最も基礎的な資料となるものです。

なお、調査した事項は、統計を作るためだけに使い、その他の目的に使うことは法律で固く禁じられていますので、ありのままをお答えください。



県北職業訓練生募集

昭和60年度県立北部職業訓練生の募集を行います。

▲訓練職種 自動車整備科、自動車板金塗装科

▲募集期間 60年1月～2月中旬

▲特典 受験料、授業料無料
※訓練校所在地、問い合わせ先 唐津市山本(☎09557 0045)

新春のスポーツ

第20回中島杯ロードレース

◎日 時 1月15日(成人の日)

○中学の部 女子の部…11時発
○一般の部 ジュニア…12時発

◎コース(折返し)

3キロ 松島 女子のコース
5キロ 木須 中学 "
10キロ 早里 ジュニア "
16キロ 黒川 一般 "

第38回東西松浦駅伝大会

◎日 時 1月27日(日) 11時発



特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について相談に応じます。

<伊万里会場>

▲日 時 1月16日10時～15時

▲場 所 市役所市民相談室

▲担 当 早田早苗氏

<南波多会場>

▲日 時 1月30日10時～15時

▲場 所 南波多公民館

▲担 当 藤巻哲応氏

行政相談

国、県、市の仕事への苦情、意見、相談などに応じます。

▲日 時 1月16日10時～15時

▲場 所 市役所市民相談室

▲担 当 岩本判三、井手敏男氏

※詳しいおたずねは、相談窓口の市役所市民相談室まで。



色えんぴつ

ある会でこんな話をうかがいました。「あなたは広報いまりや市役所だよりを読んでいるか」「読んでます」「それではお子さんには読ませているか」「……」広報は大人だけのものじゃないんだから」

この方は、そう言って広報の読み方を機会あるごとに話してくださいそうです。編集する者にとってこんな感激する話はありません。重箱の隅をつつくような電話などの多い昨今ですが、ご家族皆さんで読んでいただき建設的なご意見をお寄せくださることを願っています。

※飼い犬による被害がでています……犬はつないで飼いましょう。



アフリカの友を救おう

募金活動を行った市内の子どもたち

去年夏、アフリカの干ばつで、24か国、1億5,000万人以上の人々がうえに苦しんでいます。

新聞やテレビでも報道されているように、家もなく食べるものもないアフリカ難民(なんみん)キャンプや難民センターにも入れない、そんな人たちが500万人もいるといわれています。

世界各地から救いの手がさしのべられるなか、市内の小、中学校でも13校が児童会や生徒会を中心に募金活動を行いました。

子どもたちの募金活動は、これまでなかったので先生方もおどろいておられます。

今、日本はめでたいお正月。子どもたちは、お年玉はあってもうえることはありません。そう豊かな日本に生まれたから…。

では豊かさってなんでしょう。物やお金に恵まれていても他人のことを思いやる気持がなくて、心のお金持ちとはいえませ

んね。この豊かな心が同じアフリカの子どもたちにそそがれたのだと思います。

21世紀をにう子どもたちがこの豊かさを心の宝にスクスクと伸びていくことでしょ。

— 児童代表の便り —

何不自由なく生活している私たちに、うえに苦しんでいるアフリカの子供たちをだまっていることはできません。

私たちは代表委員会で話しあってアフリカの子供たちに何かしてあげたいと考えました。そして11月5日から11月30日まで全児童によびかけ、合計60,309円集まりました。少しでも、アフリカの子供たちの役にたててください。

昭和59年12月5日

大坪小学校児童会一同



▲ウガンダの干ばつで苦しむ人たち(外務省提供)

こどもさいじき (歳時記)

ししまい

がらりと玄関の戸があいて、「おめでとうございます」といせいのいい声とともにししまいがくると、子どもたちはあわておおくひっこみます。

お正月のこんなすがたもむかしの話ですね。赤い顔に金歯をギラギラさせたししまいは、やくばらい、家内安全をいっておどります。とくに子どもは頭を

かんでもらうと健康に育つといわれ、また火災を防ぐぐりやくもあります。

正月は伝統的な行事をふりかえるいいきかいです。昭和24年の1月26日世界で一番古い法隆寺が焼けました。そこでこの日は文化財防火デーとなっています。

私たちが身近な文化財をたいせつにしたいものです。

